

令和7年10月分の消費生活相談の概況

- ・当センターで受けた10月の相談件数は390件（表1）、前年度同月と比べ、4件の増加。
- ・販売購入形態別では、通信販売が137件と最多、店舗購入55件が続く。（表1）
- ・店舗外販売（特殊販売）の契約当事者の年齢別では70歳以上が80件と最多、60歳代36件、50歳代27件が続き、特に70歳以上が対前年度同月比53.8％増、28件の増加となっている。（表2）
- ・年齢別では、70歳以上がマルチ・マルチまがい取引を除く販売購入形態すべてで、最も多い。
- ・商品・サービス（役務）別の相談件数は、（表3）のとおり。

<表1> 相談件数・販売購入形態別相談件数

区分	総相談 件数	販売購入形態別相談件数								
		店舗 購入	訪問 販売	通信 販売	マルチ・マ ルチまがい 取引	電話勧 誘販売	ネガティ ブ・オプ ション	訪問 購入	その他無 店舗販売	不明・ 無関係
令和7年10月	390	55	32	137	2	29	2	4	2	127
前年度同期	386	71	34	118	2	22	2	6	1	130
増減	4	▲ 16	▲ 2	19	0	7	0	▲ 2	1	▲ 3
令和7年度累計	2,619	390	238	849	16	199	15	26	9	877
令和6年度累計	2,552	415	232	817	20	172	8	34	6	848
増減	67	▲ 25	6	32	▲ 4	27	7	▲ 8	3	29

※音声ガイダンス、市町村からの経由相談除く

<表2> 販売購入形態別の契約当事者の年齢構成

販売購入形態		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	その他 ・不明	計
店舗購入		0	6	7	2	5	10	16	9	55
前年度同期		1	4	7	7	9	7	21	15	71
増減		▲ 1	2	0	▲ 5	▲ 4	3	▲ 5	▲ 6	▲ 16
店 舗 外 販 売 （ 特 殊 販 売 ）	訪問販売	0	1	2	0	0	3	22	4	32
	通信販売	7	3	6	15	21	31	41	13	137
	マルチ・マルチまがい取引	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	電話勧誘販売	0	4	1	2	5	2	12	3	29
	ネガティブ・オプション	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	訪問購入	0	0	0	0	0	0	3	1	4
	その他無店舗販売	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	特殊販売全体	7	9	9	18	27	36	80	22	208
	前年度同期	7	15	12	16	27	32	52	24	185
	増減	0	▲ 6	▲ 3	2	0	4	28	▲ 2	23

<表3> 商品・サービス（役務）別相談件数上位10位

順位	前月順位	商品名等	件数	主な内容	
1	—	1	商品一般	47	フィッシングメール、架空請求など
2	↗	4	役務その他サービス	20	P Cの警告表示に伴う請求、サブスク契約など
3	↗	6	基礎化粧品	14	通信販売による定期購入など
4	↘	3	修理サービス	12	点検商法（瓦、給湯器・灯油ボイラーの配管取替）など
4	↗	12	金融関連サービスその他	12	クレカの支払（リボ払い等）・解約、暗号資産取引など
6	↗	9	他の健康食品	11	通信販売による定期購入など
6	↘	2	工事・建築	11	住宅リフォーム（屋根瓦、外壁、風呂場、トイレ）など
8	↘	4	相談その他	10	
9	↘	6	不動産貸借	9	賃貸アパートの退去費用など
10	↗	11	フリーローン・サラ金	8	消費者金融等への返済（多重債務）など
10	↗	22	他の行政サービス	8	国機関からの調査票の信ぴょう性など